

京都府漁海況情報

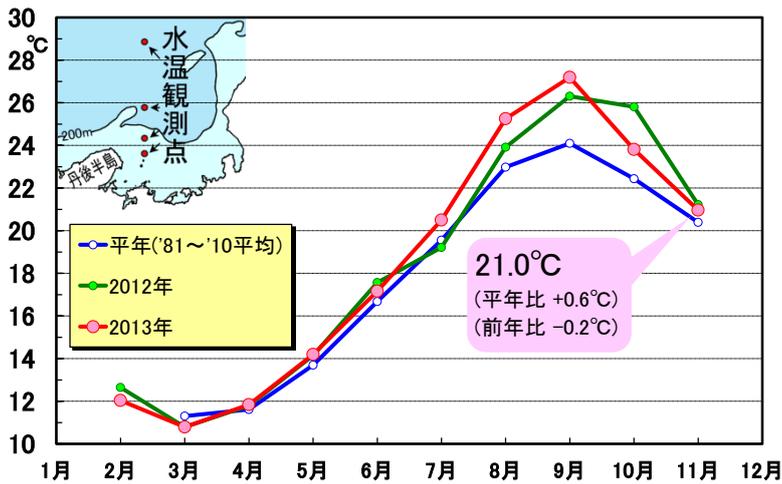
海の状況

京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>
 電話：0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

【現況】

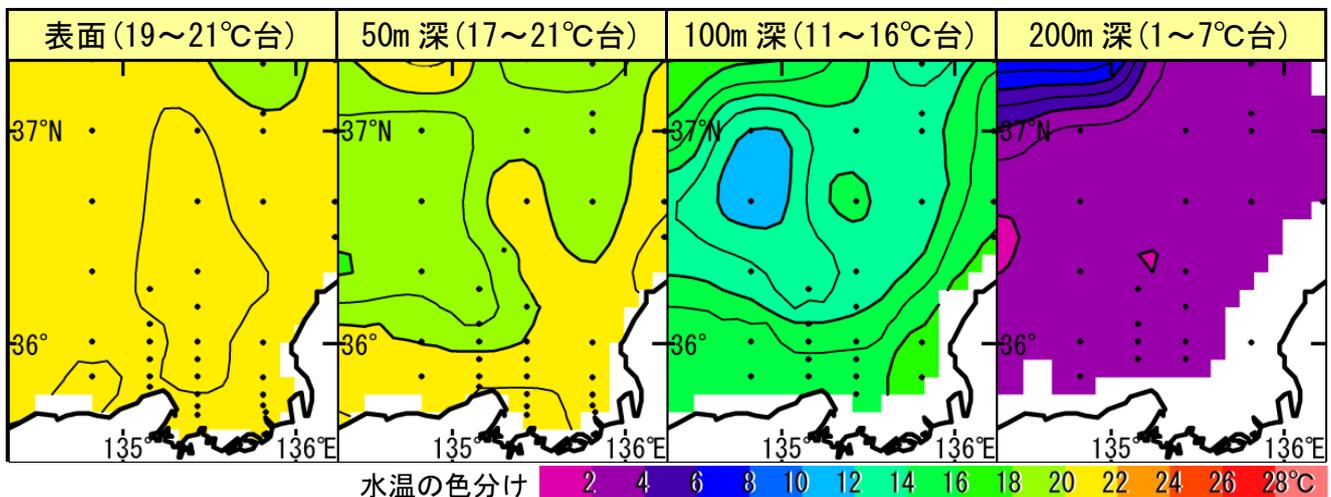
11月上旬における京都府周辺の表層水温は、平年よりやや高めで推移しました。

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都府周辺の各層水温(2013年11月上旬)

資料元：(独)日本海区水産研究所



【今後の見込み】

資料元：気象庁, (独)日本海区水産研究所

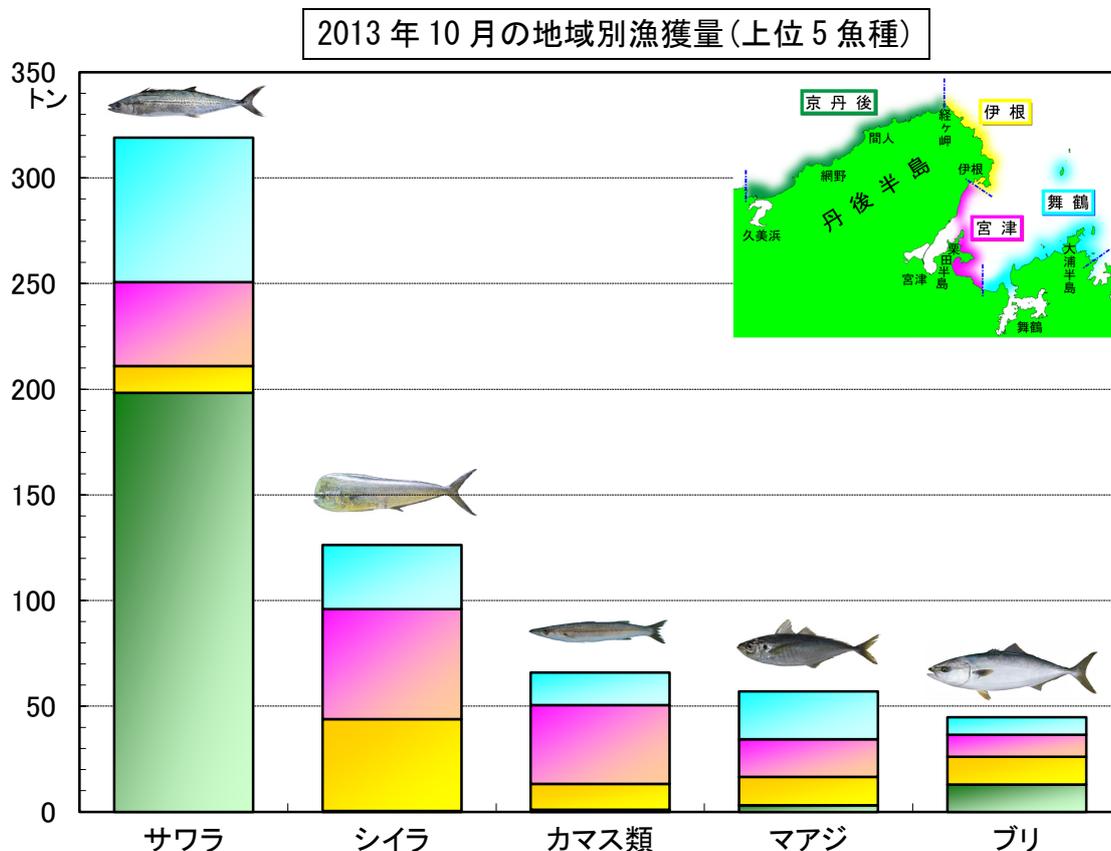
向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「平年より高め～平年並み」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年より強め～平年並み」で推移する見込み
沖合からの冷水域の張り出し※	「弱め」で推移する見込み

※冷水域の張り出しが強いと、対馬暖流域に生息するブリなどの浮魚類が沿岸に来遊しやすと考えられています

漁模様 ～2013年10月～

【定置網漁業】

サワラ(さごし)やシイラなどが好漁でした。全体の水揚量は、平年および前年の約8割でした。

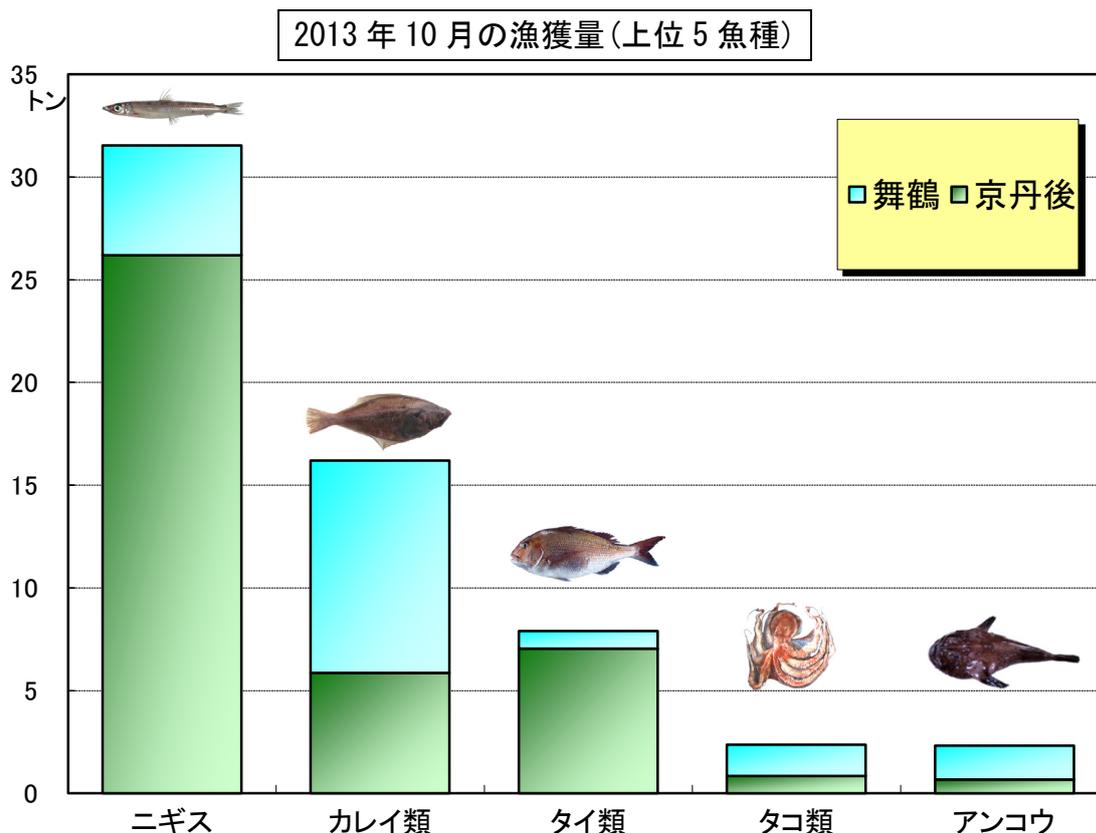


10月漁獲量(トン) 京都府漁業協同組合集計					
魚種	2013年	2012年(前年比)	平年(平年比)	備考	
サワラ	319.0	201.9 (158%)	201.7 (158%)	<サワラ> さごし銘柄(尾さ長 32cm～47cm 台)が9割以上で、残りがさわら銘柄(尾さ長 60cm～70cm 級主体)でした。 <ブリ> つばす銘柄(尾さ長 33cm～37cm 級中心)が9割弱、はまち銘柄が約1割、まるご銘柄とぶり銘柄が若干量でした。	
シイラ	126.3	129.8 (97%)	76.2 (166%)		
カマス類	65.8	39.8 (166%)	43.7 (151%)		
マアジ	57.0	24.8 (229%)	187.8 (30%)		
ブリ	44.8	348.9 (13%)	161.6 (28%)		
カワハギ(丸はぎ)	39.3	66.6 (59%)	35.0 (112%)	<イカ類> アオリイカ(秋いか)が14.6トン、ケンサキイカ(白いか)が3.4トン、ソデイカ(たるいか)が1.8トンなどでした。	
イカ類	21.8	38.3 (57%)	41.5 (53%)		
マルアジ(青あじ)	11.8	2.4 (500%)	66.7 (18%)		
シロサバフグ(さんきゅう)	11.2	18.3 (61%)	16.3 (69%)		
タチウオ	8.9	4.8 (184%)	4.2 (211%)		
その他	69.4	61.8 (112%)	190.2 (36%)		
合計	775.3	937.3 (83%)	1025.0 (76%)		

平年は過去10年平均

【底曳網漁業】

全体の水揚量は、前年並みおよび平年の約8割でした。

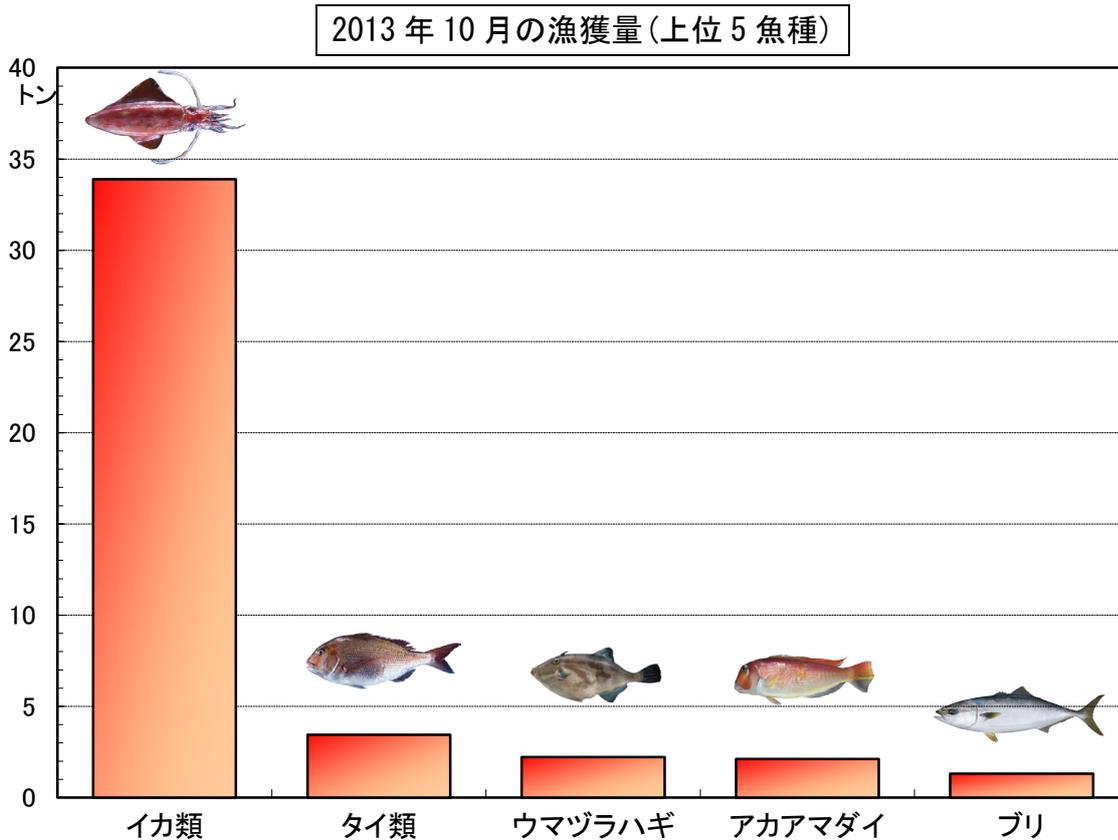


10月漁獲量(トン) 京都府漁業協同組合集計				
魚種	2013年	2012年(前年比)	平年(平年比)	備考
ニギス(沖きす)	31.5	20.9 (151%)	36.5 (87%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が 5.0 トン、 ソウハチ(えてがれい)が 3.9 トン、 水がれい(ムシガレイ)が 3.3 トン、 ササガレイ(ヤナギムシガレイ)が 3.0 トンなどでした。
カレイ類	16.2	15.1 (107%)	22.2 (73%)	
タイ類	7.9	5.5 (144%)	3.6 (217%)	
タコ類	2.4	2.0 (121%)	2.3 (101%)	
アンコウ	2.3	7.4 (31%)	9.2 (25%)	
イカ類	1.8	2.3 (80%)	2.6 (70%)	
エビ類	1.8	0.7 (255%)	0.9 (198%)	
タラ類	1.3	0.6 (202%)	0.3 (443%)	
マトウダイ類(ぼと)	0.7	1.8 (40%)	1.0 (73%)	
貝類	0.4	0.1 (707%)	0.3 (141%)	
その他	4.0	7.7 (52%)	7.1 (56%)	
合計	70.4	64.0 (110%)	86.1 (82%)	

平年は過去10年平均

【釣り・はえなわ漁業】

全体の水揚量は、前年の8割強および平年の1.3倍でした。



10月漁獲量(トン) 京都府漁業協同組合集計				
魚種	2013年	2012年(前年比)	平年(平年比)	備考
イカ類	33.9	42.4 (80%)	19.0 (179%)	<イカ類> ソデイカ(たるいか)が 33.1 トン、アオリイカ(秋いか)が 0.7 トン、ケンサキイカ(白いか)やスルメイカが若干量でした。 <タイ類> マダイが 7 割強、キダイ(レンコダイ)が 2 割強、クロダイとチダイが若干量でした。 <アカアマダイ> 体長 17cm~39cm 台で、漁獲の主体は体長 25~30cm でした。
タイ類	3.4	3.4 (100%)	4.0 (86%)	
ウマヅラハギ <small>(長はぎ)</small>	2.2	0.5 (484%)	1.5 (151%)	
アカアマダイ <small>(ぐじ)</small>	2.1	2.3 (91%)	2.8 (75%)	
ブリ	1.3	1.8 (73%)	1.9 (70%)	
メバル類 <small>(もいお)</small>	0.7	0.5 (142%)	0.5 (150%)	
ヒラマサ	0.4	0.3 (146%)	0.2 (222%)	
サワラ	0.2	—	1.3 (15%)	
メジナ <small>(つかや)</small>	0.2	0.1 (214%)	—	
マアジ	0.1	0.1 (168%)	0.6 (25%)	
その他	1.0	2.7 (39%)	3.0 (35%)	
合計	45.7	54.1 (84%)	34.8 (131%)	

平年は過去 10 年平均